

金属工 金子正昭

建造物の内部空間を仕切る間仕切り壁や天井。構造的な役割を担っていないので、建物がRC造・S造でも、間仕切り壁は軽量鉄骨や軽量気泡コンクリートとプラスターボードを使って施工する、つまり躯体そのものとは別に内装工事として扱われることが多い。内装業における金属工といえば、間仕切り壁の骨組みである軽量鉄骨などを寸法通りに切断し、組み立てるのが専門の仕事。その金属工職人に、現職に就いたきっかけや業界の現状などを話してもらった。

大工から内装業へ

金属工・金子正昭は、一九六六（昭和四十二）年東京の生まれ。高校中退後、いったん地元の仕事に入社して一般的な大工として働いていたが、その後友人に誘われて内装業に転職した。「ちょうどバブルの始まりのころだったから、内装の仕事がものすごく忙しいので手伝ってくれと言われてまして。第一印象は、とにかく給料がよかったですね。まだ十代だったのに、大工のころの二倍もらえましたから」

最初に入った会社では、大型百貨店などに入居している小規模な店舗の内装を短期間で仕上げるテナント工事をしてきた。

「夜中だけ一週間で作業して引き渡すという感じですね。その時は軽量鉄骨の組立だけじゃなく仕上げのボード貼りなんかも全部やってたので、そこでいろんなスキルが身につきました」
「これも時代といえればそれまでですけど、懇切ていねいに教わるというよりは、先輩がやってるのをこっそり見たり、頭下げて教えてもらったりして覚えていきましたね。この仕事を始めたころは作業が遅くて先輩の半分もできないから、その分よく残業もしましたよ。安全やコストを考えたなら、今はそんなことできませんが」

（株）オクジューで触れた、技術革新

間仕切り壁や天井の骨組みとなる金属の部材を接合する際、かつてはアーク溶接で施工するのが一般的だった。

「二七年前に今のオクジューで仕事を始めた時に驚いたのが、それまでの溶接を使う方法を

KEEP

守り、伝えること

かつては見て覚え、自分で考えるのが常識。
今はコミュニケーション能力が必須



左／現場内、施工中の間仕切り壁の前で、事務担当の鹿島建設（株）・宮本康弘職員と。
中／プラスターボードの切断をチェック。間仕切り壁の施工では、軽量鉄骨の組立とボードを貼る作業は常に同時並行で行われる。
右／現場である神田錦町のビル。躯体ができ上がってからが内装工の本格的な出番だ。



現場のプロフェッショナル
KEEP & CHANGE

全部改めて、ビス止めや接合金物を使うやり方を広めようとしてたんです」

コストや施工時間を重視する場合、溶接に勝る接合法はないとされていた。しかし一定の技術を要するため、職人それぞれの技量の差が出

てしまう。

「当時の社長がそこに目を付けたんですね。僕がやっても、今日入った新人がやってもきちんとな必要な強度が出せるようにしよう」と

新しい方法を導入した当初はコストも時間も

余分にかかり、また職人の間にも戸惑いがあったであろうことは想像に難くない。

「業界の常識を変えようっていうくらい信念ですよ。私もそこに感銘を受けて、ずっと長いことオクジューの下で仕事してるんです」

「コミュニケーション」の大切さ

現在勤めている現場は、千代田区神田錦町に建設中の十七階建てビル。完成後は店舗やオフィスなどが入居する複合ビルとなる。

「この業界でまず必要なのは、コミュニケーション能力だと思います。ここみたいな大きな現場になれば、いろんな職種の方がそれぞれの目的で、それぞれの工期を守って作業してるわけで、自分のわがままなんて通りませんし、こちらの主張を聞いてもらうにはきちんと話が必要ないと厳しいですね」

鹿島建設の岩田誠工事長も、

「毎日のように事務所にきて、われわれ職員が一番いろいろと話を聞いてくるのが金子さん。資料や図面についての質問だったり、逆に『こうすればもっと簡単に品質を上げられる』という提案だったり。密に打ち合わせや確認をしてるから、作業に無駄がないし、できあがりがないのもうなずけます」

と、その高い効果を認める。



かねこ・まさあき◎1966(昭和41)年、東京都生まれ。高校中退後、工務店勤務を経て内装業に転向。1996(平成8)年に株式会社オクジューに入社。現在は有限会社エム・ケイ企画の代表として職人をまとめ、数多くの大規模な現場で内装の下地・ボードなどを手がける。

若い人材がなかなか定着しない建設業界をどう変えていくべきか、最後に意見してもらった。「僕が若いころは、いつか仕事を覚えて一流の職人になって、お金を稼いで…っていう夢があったんです。多少苦労してもそこにたどり着きたっていう。でも今の子からすれば、僕が苦労してるところばかり見て『俺はそこそこのいいや』って思われちゃってる。難しいけど、そこに魅力や夢を感じてもらえるようにしないといけないな、と思ってます」

「昨今、国土交通省の主導で労働者の社会保障などへの加入も促進されている。

「将来の保障も福利厚生もしっかりできて、業界の魅力が高まれば、若い子たちが入ってきやすくなるので、これはチャンスだと思いますね」

左/金子の会社の従業員は6人。「気心の知れたメンバーだし、みんなルールをしっかり守るし、最高のチームです」
右/2階は吹き抜けで天井が高いため、間仕切りに使われる軽量鉄骨も長いものになる。「ここまで長い部材を使うのは珍しいですよ」

